

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年 3月 17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170401665		
法人名	有限会社 メティス		
事業所名	グループホーム あさひの杜		
所在地	札幌市手稲区手稲本町2条2丁目4番24号 (電話) 011-681-3022		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成22年3月12日	評価確定日	平成22年3月24日

【情報提供票より】( 22年 3月 1日事業所記入 )

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和 (平成) 17年 12月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	5 人
職員数	7 人	常勤 6人、非常勤 1人、常勤換算 2.5人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1~2 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000~45,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費:20,000円 暖房費:10,000円(10-4月)
敷金	有(100,000 円)		無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 3月 12日現在 )

利用者人数	5 名	男性 1 名	女性 4 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 76 歳	最低 70 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 宮の沢総合クリニック・なかお歯科クリニック
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「あさひの杜」はJR手稲駅から徒歩5分程の所に位置し、商店街や郵便局、地域会館、数ヶ所の公園などがあり生活環境に恵まれている。民家を改装した建物はそれぞれの居室も個性的で落ち着いた雰囲気があり、家庭的な温かさが感じられる。運営者は以前の病院勤務の経験を活かし、市・区役所との連携と共に医療関係機関との連携も深く、利用者が元気に自由でやすらぎのある穏やかな生活が送れるように心掛けて日々職員を指導している。認知症の小冊子を家族に渡して説明したり、職員にも積極的な研修への参加を促すなど認知症の理解に力を注いでいる。利用者は自分のペースでゆったりと穏やかな笑顔で生活している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議の2ヶ月毎の開催、市町村との連携、外部研修への参加、同業者との交流など取り組みが行われている。センター方式の導入は現在もより良い方法を検討中であり、冬季の外出支援は難しいながらも路面状況や体調、本人の意向を大切にしながら進めて行く意向である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は運営者が会議の機会などを利用して自己評価の内容を意識しながら職員の意見を聞いてまとめ上げているが、職員は項目毎の内容を十分把握するまでには至っていない。運営者は自己評価を行う事でケアの再確認になるため毎年行う事が重要であると考えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、町内連合会副会長、市役所職員、利用者、家族、後援会の方などが参加して2ヶ月毎に開催されている。事業所の報告や自己評価・外部評価も議題として取り上げている。家族から嚙下やとろみ食の作り方の講習会に参加した時の話を聞き、サービスの向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月「あさひの杜・便り」を発行して事業所の様子や個々の利用者の様子を家族に報告し、離職がある時もホーム便りに掲載している。年間2回家族会を開催して家族の意見を積極的に聴く努力をしている。家族から意見や不満が出される事は少ないが、意見などが出された時は職員と話し合いを行いすぐに適切な対応をするように心掛けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会や老人会に加入して、町内の花壇作りや民謡教室、夏祭り、廃品回収などの町内会行事に参加している。隣の中央会館で行われている子供のバレー練習などを見学に出かける事もある。手品などのボランティアが事業所を来訪する事もある。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者は開設時に「高齢者の尊厳と自立を守り自由とやすらぎを」という事業所独自の理念を作成し、職員の温かなケアの下に、利用者は家庭的な環境の中でそれぞれのペースで自由に穏やかな生活を送っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関と居間に掲示し職員全員で共有している。職員は日々のケアで迷った時は理念に立ち返ってみんなで話し合って解決している。毎月のカンファレンス時には、運営者が理念を基に利用者に対するケアの重要性について話をする事で、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や老人会に加入して、町内の花壇作りや民謡教室、夏祭り、廃品回収などの町内会行事に参加している。隣の中央会館で行われている子供のバレー練習などを見学に出かける事もある。手品などのボランティアが事業所を来訪する事もある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は運営者が会議の機会などを利用して自己評価の内容を意識しながら職員の意見を聞いてまとめ上げているが、職員は項目毎の内容を十分把握するまでには至っていない。運営者は自己評価を行う事でケアの再確認になるため毎年行う事が重要であると考えている。		全職員でガイドブックを活用して評価の意義を理解し、次年度は職員全員で自己評価に取り組むように期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、町内連合会副会長、市役所職員、利用者、家族、後援会の方などが参加して2ヶ月毎に開催されている。事業所の報告や自己評価・外部評価も議題として取り上げている。家族から嚙下やとろみ食の作り方の講習会に参加した時の話を聞き、サービスの向上に活かしている。		
6	9	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は市役所や区役所を月に4～5回程訪問して、書類の提出や家族からの相談事、介護保険の手続き、生活保護の認定など多方面に渡り相談している。運営者は役所からの講演会の講師依頼なども積極的に受けている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「あさひの杜・便り」を発行して事業所の様子と個々の利用者の様子を家族に報告している。今年度は職員の離職はなかったが、離職がある時はホーム便りで家族に報告している。金銭出納報告は毎月領収書の原本を家族に渡して出納帳に確認印をもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談機関を記載して、利用開始時に家族に説明している。玄関に意見箱を設置すると共に、年間2回家族会を開催して家族の意見を積極的に聴く努力をしている。家族から意見や不満が出される事は少ないが、意見などが出された時は職員と話し合いを行いすぐに適切な対応をするように心掛けている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度は職員の離職もなく、利用者との信頼関係が深まり安定したケアが行われている。職員が離職する場合は寿退社という事で説明をして、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	札幌市グループホーム管理者会や手稲区グループホーム管理者会の研修会、病院の認知症相談会に参加している。外部研修の内容は申し送りや毎月の会議の中で報告し、資料ファイルは各職員が読んで確認印を押すようにしている。新人職員研修は5日間程のマニュアルを作成して基本理念の理解や接遇マナー、小冊子を利用して認知症の理解などについて計画的に指導が行われている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	運営者は市や区のグループホーム管理者会議、研修会などに積極的に参加して他のグループホームと交流を行っている。一般職員にも他のグループホームや老健施設との交流を進め、相互見学や1日実習などを行いサービスの向上に役立っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	病院から利用開始になるケースが多いため、看護師や病院の相談員と数回運営者が面談を行い、本人の状況を把握して受け入れが可能かどうか判断している。利用開始前に数回見学に来てもらったり体験入居などを行い、本人が納得してからサービスを開始するように配慮している。利用開始後は寄り添う時間を多くし、職員が他の利用者との仲立ちをして徐々に馴染めるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	運営者や職員は、習字や裁縫、切り絵などを教えてもらう事が多く、一緒に作業する事で時間を共有している。「有難う」や「ご馳走様、美味しかったよ」と利用者に向けて声をかけてもらう事で職員は精神的に支えられ、家族と一緒に過ごしているようなやすらぎを感じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者は自分から思いを言葉にして表現する事は少ないが会話による意思の確認ができるため、職員がその時の状態に応じて質問形式で問いかける事でそれぞれの利用者の思いや意向を把握するようにしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用当初の計画は病院の情報、介護認定資料、家族からの情報を収集し、管理者と計画作成者は話し合いの中で利用者、家族の意向を入れて介護計画を作成している。課題や支援内容をカンファレンスで話し合い、完成した計画書を家族に説明し同意を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>新規作成の場合は利用者の状態を見て追加や修正を加えて3ヶ月後に見直している。定期的な見直しは毎月の定例会議で状態の検証と今後の援助方針を話し合い、状態が安定している場合は6ヶ月毎に見直し更新計画書を作成している。体調の変化や新たな課題が生じた場合は主治医や家族とも話し合い、カンファレンスで内容を検討して介護計画を作り直している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の送迎や自宅に帰りたい時は送り迎えを支援し、買い物などの送迎も行っている。家族の事情から退去後も主治医との連携で他の入院先が決まるまで点滴に通うなど、個別の事情に応じて柔軟に対応している。必要な時は家族が泊まれるように寝具類を準備している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用開始時に受診先の希望を聞いているが、ほぼ全員が協力医療機関のかかりつけ医の受診に変更している。2週に1回の協力医の往診と歯科医の往診があり、主治医と連携を密にしている。また管理者は近隣の専門的な病院を頻繁に訪問し関係を築く中で、利用者が安心して適切な医療が受けられるように配慮している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用契約時に重度化や終末期について事業所の方針を文書で説明し、同意を得ている。医療行為が必要な場合は事業所での対応が難しいので入院方向になる。また事業所の方針として看取りケアを行っていないが、状態に応じて家族と主治医との話し合いに事業所も同席して方針を共有し、柔軟に対応している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇りやプライバシーに配慮し、名前は苗字で呼び、失禁などの言葉は他の利用者や家族の前で話さないように注意している。個人情報の書類は事務所に保管し、記録する時も場所を選び注意している。来訪者名簿は一覧表にしてその日に処理しているが、プライバシーに配慮し取り扱いを検討している。</p>		<p>プライバシーに配慮した来訪者名簿の取り扱いを検討されているので、それに期待したい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者自身が居間に集まる事で自然に食事時間が決まっている。午前中に体操をする、入浴日には午前中から入る、居間で新聞を読む、テレビを観る、居室で過ごすなど利用者のペースで生活している。職員は家庭的な雰囲気の中でゆったり過ごせるように見守っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が好む野菜類を多く取り入れて職員が献立を作っている。管理者は調理師免許を持っており、週に1回は素材を活かした和食や赤飯を提供して利用者に喜ばれている。利用者は味見、食器並べ、下膳、テーブル拭き、食器拭きなどを職員と一緒にを行い、食事中はゆったりと時間をかけて職員も共に食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週に2回の入浴日を決め、9時過ぎから昼過ぎまでに入浴の順番を公平にして全員の入浴を支援している。体調が優れない時や行事などには曜日を変更して対応している。夏季や排泄の失敗時にはシャワー浴を随時行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自室のカーテン開閉、床のモップがけ、ゴミ集めが毎日の仕事として習慣になっている。野菜畑や花畑など利用者全員の割り当てがあり、畑作りから収穫まで競って育てている。習字、裁縫、切り絵の趣味を楽しみ、カラオケ、トランプ、ビーチバレーなどで遊び、外食や年間行事を楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は特に散歩が楽しみで、夏季には近くの公園や事業所の周囲を毎日のように歩いている。午前、午後と出かけ、また夕方に散歩に出かける利用者もいる。買い物に出かけ、野菜畑などの水やりや草取りなどをして外に出ている事が多い。冬季は外に出たがらず受診程度になっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が自由に出入りできるように7時から19時頃まで玄関に鍵をかけないで見守っている。一人で迷っている時は近隣の地域会館、商店、理髪店などに協力を依頼しているが、ここ2年間は一人で外に出る利用者はいない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災マニュアルを作成し、年に2回は火災訓練を行い、利用者も参加して玄関に誘導している。隣接の町内会長宅を避難場所とし、災害については職員と常に話し合い、夜間の避難もシュミレーションで確認しているが実際の訓練は行っていない。また緊急時の対応マニュアルに沿って対応しているが職員の救急救命の受講などは行っていない。</p>		<p>夜間を想定した訓練を実際に行い、課題などを職員間で確認できるような取り組みに期待したい。また、職員全員が2年に1回は定期的に救急救命訓練を受講できるように期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>協力関係にある老人保健施設「平和の杜」の管理栄養士が基本的な献立を作り、それを基に栄養バランスに配慮して職員が献立を作り、年に3、4回はチェックしてもらっている。食事量、水分量は個人の生活記録に記載し把握している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い庭園のある一般住宅の造りを活かした共用空間は家庭的で居心地のよい環境である。台所で食卓を囲み、居間は広いソファで庭の季節の景色を眺めながら家族的な団欒ができる丁度良いペースである。トイレを改造し車椅子使用も可能で、2階への階段昇降は運動にもなっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は間取りの特徴を有効に活用し畳みやフローリングの床になっており、自宅から持ち込んだ家具類、仏壇、テレビなどが置かれている。本人が描いた絵画、装飾なども飾られており、それぞれに個性的な居室で利用者は寛いでいる。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。